

日本円OIS (Overnight Index Swap)
—取引の概要と活用事例—

リスク・フリー・レートに関する勉強会

本資料の内容

1. はじめに
2. OIS とは何か
3. OIS の活用事例
4. OIS 利用に当たっての留意事項
5. OIS の利用拡大に向けた今後の検討課題

(この資料の位置付け)

この資料は、これまで日本円 OIS を利用した経験のない金融機関等の関係者が、日本円 OIS の概要や活用イメージを把握するためのものとして、2018 年 3 月時点の情報をもとに取りまとめたものです。実際に日本円 OIS を行う場合には、取引先金融機関等との間で、具体的な取引内容を協議したうえで実行することが想定されますが、日本円 OIS の理解を深める一助となれば幸いです。

1. はじめに

LIBOR や TIBOR 等の主要な金利指標は、多くの金融取引の参照金利として使われており、グローバルな金融システムにおいて非常に重要な役割を担っています。

金融安定理事会（FSB）は、金利指標の頑健性や信頼性を向上させるため、2014年に「主要な金利指標の改革」と題する報告書（FSB 報告書）を公表し、金利指標の改革を提言しました。

FSB 報告書の提言のポイント

FSB 報告書は、①主要な金利指標（IBOR）について、可能な限り実取引データに基づくものとする改革を行うこと（提言①）とともに、②銀行の信用リスクを含まないリスク・フリーに近い金利指標（リスク・フリー・レート）を構築すること（提言②）を提言しました。この2つの改革を実現するとともに、それぞれの金利指標を、その性質を踏まえて金融商品に適用していくことが望ましいとし、そうしたアプローチを「マルチプル・レート・アプローチ」と呼んでいます。

提言②にあるリスク・フリー・レートは、信用リスクを含む参照金利を必ずしも必要としていない金融商品であるデリバティブ取引に主に利用されることが想定されています。

（わが国における取組みの内容）

提言①を受け、2017年7月、TIBORの運営機関である全銀協 TIBOR 運営機関（JBA TIBOR Administration: JBATA）が、TIBOR 改革¹を実施しました。また、提言②を受け、2016年12月、リスク・フリー・レートに関する勉強会²が、実取引に基づいて算出される無担保コール O/N 物レートを、日本円のリスク・フリー・レートに特定しました。

特定されたリスク・フリー・レートを LIBOR 等のターム物レートに代わる金融商品の参照金利とするためには、期間構造が必要です。日本円 OIS（Overnight Index

¹ TIBOR 改革については、JBATA のホームページ（http://www.jbatibor.or.jp/news/2017/tibor_6.html）を参照。

² リスク・フリー・レートに関する勉強会は、2015年4月、日本円の「リスク・フリー・レート」を特定することを目的として市場参加者により設立され、日本銀行金融市場局が事務局を務めている。（<https://www.boj.or.jp/paym/market/sg/index.htm/>）

Swap) レートは、日本円のリスク・フリー・レートとして特定された無担保コール O/N 物レートを原資産とすることから、リスク・フリー・レートベースのターム物金利として活用することも考えられます。2017 年 1 月、リスク・フリー・レートに関する勉強会が、リスク・フリー・レートの利用拡大に向けたワーキング・グループを設立し、OIS 市場の活性化に向けた具体的な検討をしてきました。

(金利指標の存続に関する不透明感の高まり)

こうしたなか、2017 年 7 月末に、英 FCA (金融行為規制機構) のベイリー長官が、評価対象であるホールセール無担保取引市場が十分に活発でないことが LIBOR の継続性に重大な疑念を生じさせていると述べるとともに、2021 年末以降は、LIBOR 維持のための権限行使は行わない旨を表明しました。こうした発言を受けて、LIBOR が将来にわたって利用可能なのか、不透明感が高まっています。

このため、従来、円 LIBOR が適用されていた金融商品について、その性質上、リスク・フリー・レートの参照が適切な場合には、日本円のリスク・フリー・レート (無担保コール O/N 物レート) を原資産とする OIS レートを、ターム物金利として利用できる態勢を整えることが急務となっています。

2. OIS とは何か

OIS は、金利スワップ取引の一種です。金利スワップは、異なる金利（固定金利と変動金利または変動金利同士）を一定期間毎に交換する取引であり、現状、変動金利として LIBOR を参照するものが多く取引されています。OIS は、固定金利と変動金利を交換するスワップの一種で、変動金利として、LIBOR ではなく翌日物金利を参照するものです。わが国においては、固定金利と、変動金利として一定期間の無担保コール O/N 物レート（複利計算）を交換する取引が行われ、ほぼ全ての取引で中央清算機関が利用されています。なお、OIS の固定金利は OIS レートと呼ばれます。

日本円 OIS 市場は、幅広い年限の取引が存在するものの、取引主体が一部の金融機関に限られていることから、取引量は低調なものに留まっています。

（OIS の定義）

金利スワップは、異なる金利（固定金利と変動金利または変動金利同士）を一定期間毎に交換する取引であり、現状、変動金利として LIBOR を参照するものが多く取引されています。

OIS は、金利スワップ取引の一種で、変動金利として一定期間の翌日物金利の加重平均値（複利計算）と約定時に決めた固定金利を交換します。わが国においては、固定金利と無担保コール O/N 物レートを交換する取引が、OTC（Over the Counter：店頭における相対取引）で行われています。

（OIS の取引年限）

OIS の取引年限については、短期（数週間～2年）から超長期（30年）まで広がりますが、長い年限の取引は、主に 5・10・20年とみられます³。

（OIS の取引主体）

現状、取引主体は外資系および国内大手の証券会社が大半を占めるものの、国内

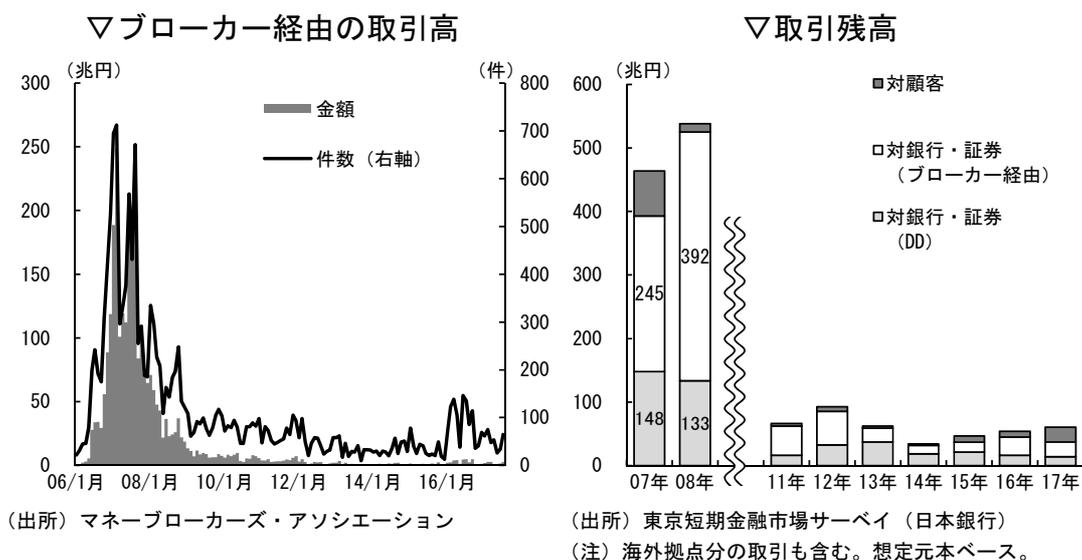
³ リスク・フリー・レートの利用拡大に向けたワーキング・グループで実施したアンケート結果に基づく。

外の銀行の中にも取引を行っている先があります⁴。

(OIS の取引形態)

ほぼ全ての取引で中央清算機関（わが国においては、日本証券クリアリング機構<JSCC>が該当）が利用されています。

(図表 1 : OIS の取引量)



(図表 2 : 2017 年の OIS/LIBOR/TIBOR の対固定金利スワップ清算取引)

		合計	0-2Y	2-5Y	5-10Y	10-30Y	30+Y
OIS	取引額	10.0	7.3	1.3	0.7	0.7	0.0
	年末残	10.8	6.3	1.9	1.4	1.2	0
LIBOR	取引額	904	323	141	237	200	4
	年末残	978	366	210	318	83	0.2
日本円 TIBOR	取引額	1.6	0.3	0.9	0.3	—	—
	年末残	3.5	1.0	1.6	0.9	—	—
ユーロ円 TIBOR	取引額	12.7	4.1	3.4	3.5	1.6	—
	年末残	38.9	17.5	12.4	8.0	1.0	—

(出所) 金利スワップ取引に関する統計データ (JSCC)

(注 1) 取引額は債務負担金額を指し、想定元本ベース。年末残は年末の債務負担済残高を指す。

(注 2) 単位は兆円。2017 年 12 月末時点。

⁴ 金融庁「店頭デリバティブ取引情報」および日本銀行「東京短期金融市場サーベイ」に基づく。

(OIS の取引・計算手順⁵)

実際の取引手順は取引先金融機関等と確認する必要がありますが、基本的な取引方式として以下の点を挙げるすることができます。また、金利の計算に際しては、情報ベンダー（Bloomberg、QUICK、Thomson Reuters 等）を参照することが可能です（詳細は別紙をご参照ください）。

基本的な取引方式

- 参照指数：日本銀行が公表する無担保コール O/N 物レート（確報値）
- 想定元本の単位：10 億円単位
- 固定金利の単位：8 分の 1bps 刻み
- 休日：東京（変動金利の算出場所）
- 変動金利の計算方法（下記の計算式は一例です）

変動金利は、契約の初日または前回の利払い日から a 日後に固定金利との交換が行われる場合、 a 日後に以下のとおり計算（ a 日後に日本銀行が前営業日の無担保コール O/N 物レートを公表した時点で、変動金利の支払額が確定）

$$\left\{ \prod_{i=1}^M (1 + O_i \delta_i) - 1 \right\} \times \frac{365}{a}$$

M ：金利計算期間における銀行営業日の日数（スタート日＜起算日＞算入、エンド日＜満期日＞不算入）

i ：金利計算期間における何番目の銀行営業日であることを示す

O_i ： i 番目の銀行営業日付の無担保コール O/N 物レート

δ_i ： O_i が適用される期間の実日数（カレンダー上の日数）/365 日

— 金曜日の O_i に対しては、土日を含める形で $\delta_i = 3$ （月曜日が祝日でない場合）

a ：金利計算期間の実日数（年利換算のため＜起算日算入、満期日不算入＞）

- 決済方法：差金決済
- 決済時点：満期日の 2 営業日後

⁵ 基本的な取引方式に関する記述の作成に当たっては、杉本浩一ほか『スワップ取引のすべて第 5 版』（金融財政事情研究会、2016 年）を参考にした。

金利の計算例

例 1 : 1年以上の OIS 清算取引で、1年毎に利払いを行うケース

投資家である甲がマーケットメーカー（証券会社）との間で、5年間の OIS（固定金利払い（0.08%）、変動金利受け）を想定元本 100 億円で約定。

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
1年間の無担保コール O/N 物レートの平均	0.10%	0.05%	0.20%	0.40%	0.30%
固定金利払い	0.08%	0.08%	0.08%	0.08%	0.08%
甲の損益 (bps)	2bps	▲3bps	12bps	32bps	22bps
甲の損益 (毎年差金決済)	2 百万円	▲3 百万円	12 百万円	32 百万円	22 百万円

- 開始日から 1年毎に迎える利払い日に差金決済。5 回目の利払いは、満期時に差金決済。

例 2 : 1年未満の OIS 清算取引で、満期時のみに利払いを行うケース

投資家である甲がマーケットメーカーとの間で、5月2日（平日）を起算日とする 2週間の OIS（固定金利払い（0.08%）、変動金利受け）を想定元本 100 億円で約定。満期日である 5月16日の午前 10 時頃に日本銀行が前営業日である 5月15日の無担保コール O/N 物レート（確報値）を公表するのを待って変動金利の受取り金額を複利計算し、差金決済する金額が確定。満期日の 2 営業日後に差金決済を実行。

日付	5/1 日	5/2 日	5/3 日	5/4 日	5/5 日	5/6 日	5/7 日
営業	平日	平日	祝日	祝日	祝日	土曜	日曜
レート	0.10%	0.07%					
実日数		1 (起算日)	2	3	4	5	6
日付	5/8 日	5/9 日	5/10 日	5/11 日	5/12 日	5/13 日	5/14 日
営業	平日	平日	平日	平日	平日	土曜	日曜
レート	0.13%	0.10%	0.10%	0.10%	0.14%		
実日数	7	8	9	10	11	12	13
日付	5/15 日	5/16 日	5/17 日	5/18 日	5/19 日	5/20 日	5/21 日
営業	平日	平日	平日	平日	平日	土曜	日曜
レート	0.15%	0.12%	0.08%	0.10%	0.13%		
実日数	14	満期日 (不算入)		決済日			

- 投資家甲の受取り金額（変動金利）：

$$100 \text{ 億円} \times \left\{ \left(1 + 0.07\% \times \frac{6}{365} \right) \left(1 + 0.13\% \times \frac{1}{365} \right) \left(1 + 0.10\% \times \frac{1}{365} \right) \left(1 + 0.10\% \times \frac{1}{365} \right) \left(1 + 0.10\% \times \frac{1}{365} \right) \left(1 + 0.14\% \times \frac{3}{365} \right) \left(1 + 0.15\% \times \frac{1}{365} \right) - 1 \right\} = 389,047 \text{ 円}$$
- 投資家甲の支払い金額（固定金利）：

$$100 \text{ 億円} \times \left(0.08\% \times \frac{14}{365} \right) = 306,849 \text{ 円}$$
- 投資家甲の損益：

$$389,047 - 306,849 = 82,198 \text{ 円 (決済日に一括で差金決済)}$$

3. OIS の活用事例

OIS レートは、LIBOR や TIBOR といった IBOR と異なる性質を持っています。OIS レートは、参照金利である無担保コール O/N 物レートと同様に、含まれる銀行の信用リスクはごく限定的であるほか、翌日物金利に対する市場見通しを強く反映する、変動金利の受払額が金利計算期間の満期日に確定するといった性質があります。

このような性質に適した形で、OIS は、ヘッジや裁定取引の目的で広く用いることが可能です。具体的には、保有国債等の価格変動に対するリスクヘッジ目的のアセット・スワップや資産と負債の金利感応度におけるミスマッチ解消目的のスワップ、先行きの金融政策の見通しに基づく裁定取引等、様々な目的で用いることができます。

なお、以下の事例は、特定の取引を推奨するものではありません。OIS の望ましい活用方法は、個々の金融機関等における資産・負債等によって異なりますので、取引先金融機関等と相談のうえ、取引を行う必要があります。

(1) IBOR と OIS レートの性質の違い

①IBOR の性質

(信用リスクを含む)

IBOR は、銀行が他の銀行に無担保で貸付を行う際のターム物の金利であるため、銀行の信用リスクを含んでいます。すなわち、各期間（例えば6ヶ月）における、銀行の信用リスクプレミアムも含めた金利の市場見通しを示しています。このため、銀行の信用リスクを反映することが望ましい金融商品については、IBOR を参照することが適切と考えられます。

(変動金利の受払額も金利計算期間の前に決定)

IBOR は、変動金利の受払額も、金利計算期間の前に決まっています。利息支払額が金利計算期間の前に決まる点が評価される一方、金利決定日の市況を反映したレートが参照されることになるという留意点もあります。

②OIS レートの性質

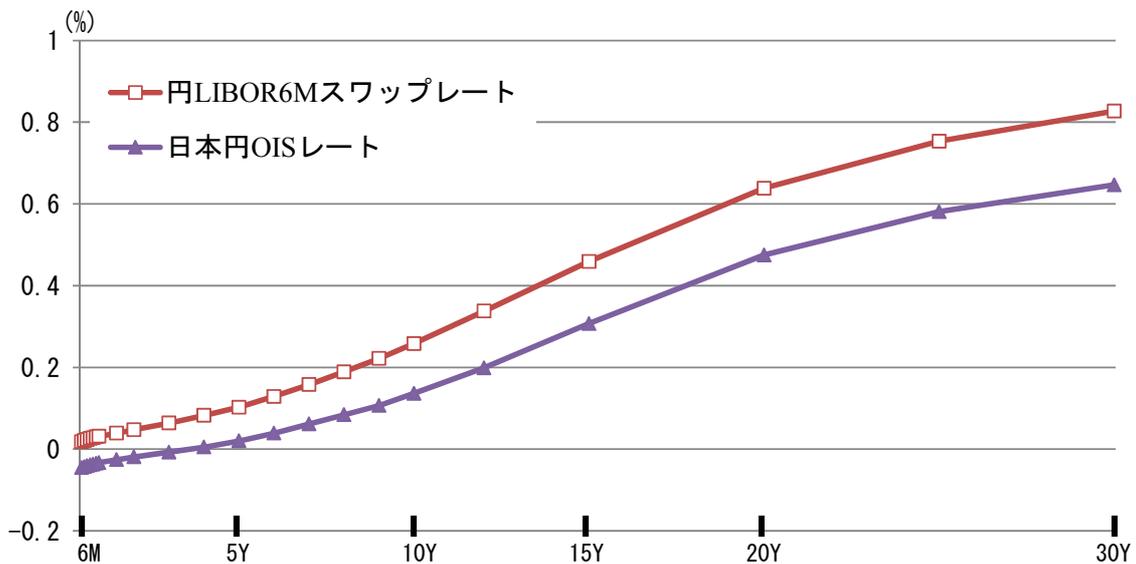
(信用リスクはごく限定的)

わが国の場合、OIS レートは、信用リスクがごく限定的である無担保コール O/N 物レートの市場見通しを反映しているため、無担保コール O/N 物レートと同様に、リスク・フリーに近い性質を有しています。デリバティブ取引の多くは、取引当事者が意図する経済的なエクスポージャーという観点からは、必ずしも信用リスクを含む参照金利を必要としないため、リスク・フリー・レートや OIS レートの利用が適していると考えられます。

(変動金利の受払額が金利計算期間の満期日に確定)

OIS は、変動金利の受払額が金利計算期間の満期日に、当該期間中の無担保コール O/N 物レートを複利計算して確定します。すなわち、利息支払額が、金利計算期間の満期日まで確定しないという特徴があると共に、期間中の金利変動を均した結果となります。

(図表 3 : 円 LIBOR6M スワップレートと日本円 OIS レートのイールドカーブ)



(出所) Bloomberg

(注) 2018年3月19日時点。

(2) OIS の活用事例

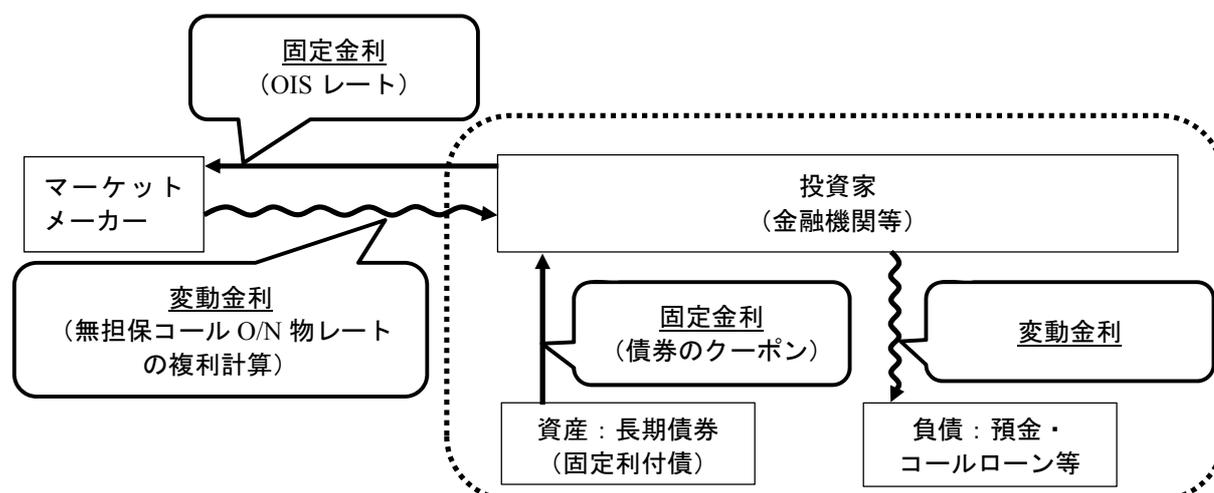
①基本的な活用事例

(アセット・スワップ)

資産サイドのキャッシュ・フローを別の種類のキャッシュ・フローに変換するスワップをアセット・スワップと呼びます。

国債等の固定利付債を変動金利の資金調達で購入する場合、OIS（債券の残存期間と同期間の固定金利払い・変動金利受け）により、資産の金利変動リスクをヘッジするとともに、市場金利変動に伴う資金調達コストの変動リスクをヘッジすることができます。

(図表4：アセット・スワップにおける利払キャッシュ・フローのイメージ図(注))



(注) OIS を利用した際のキャッシュ・フローのイメージがわかりやすいため、ここではアセット・スワップについてのみ図を示します。それ以外の取引については、取引先金融機関等にご確認ください。

(ALM スワップ)

資産と負債の金利感応度にミスマッチがある場合に、これをバランスさせるために用いるスワップです。

コール市場・預金・短期社債など短期金利（変動金利）に連動するコストで資金調達を行い、長期国債・長期ローンなど長期金利（固定金利）に連動するリタールの資産運用を行っている場合、OIS（固定金利払い・変動金利受け）により、資金調達と運用のミスマッチを解消することができます。

②それ以外の活用事例

(OIS/IBOR ベーシス・スワップ)

翌日物金利に連動する資金調達と IBOR に連動する資金運用はいずれも変動金利に連動していますが、OIS と IBOR の間のスプレッドが変動するリスクにさらされます。このリスクをヘッジする手段として、運用が LIBOR に連動している場合には OIS/LIBOR ベーシス・スワップが、TIBOR に連動している場合には OIS/TIBOR ベーシス・スワップの組合せが考えられます。

(デリバティブのディスカウント・リスクのヘッジ)

担保(変動証拠金)付デリバティブ取引について OIS レートによるディスカウント・カーブで時価評価を行っている場合、自己ポジションに一致する年限の OIS により、ディスカウント・リスクをヘッジすることができます。

(MPM トレード)

先行きの金融政策の見通しに基づく裁定目的の OIS を MPM トレードと呼びます。特定の金融政策決定会合(MPM)の結果に対する予想に基づく取引のほか、政策変更を強く予想する MPM とそうでない MPM を対象とする OIS のスプレッド取引もあります。

(カーブ・トレード)

イールドカーブの形状変化を対象とする取引をカーブ・トレードと呼びます。たとえば、イールドカーブのステープ化やフラット化を想定した裁定またはリスクヘッジの手段として、年限と「受け・払い」の異なる OIS を、両年限の金利(イールドカーブ)が平行にシフトした場合に損益ゼロ(デルタニュートラル)となるよう想定元本に差をつけた上で取引し、一定の時点で両方の OIS を反対取引(アンwind)により解消します。

(その他)

上記の活用事例のほか、アセット・スワップの一つとして翌日物金利に連動する流動性預金などのキャッシュ・フローをヘッジする取引や、顧客の ALM のためのスワップ取引(例えば翌日物金利で資金調達する際や固定利付の債券を保有する際)も挙げられます。加えて、金融商品の性質に応じて、例えば、OIS レート連動の資金調達や貸出を行うことも考えられます。

4. OIS 利用に当たっての留意事項

日本円 OIS を利用するに当たっては、自らの資産・負債構造等に応じて適切な手法を採用する必要があるほか、事務・システム面、さらには、会計処理等について、準備しておく必要があります。

（事務・システム面の対応）

従来から多くの金融機関において、LIBOR や TIBOR 等を参照するスワップ取引が行われていますが、新たに OIS を行う場合には、自社の事務体制やシステム面の対応を行う必要があります。

（会計面の対応）

様々な金融取引を行うに当たって、会計上の取扱いについては、自社の監査法人との対話を通じて明確化されることとなりますが、OIS の場合も同様です。OIS の特性を踏まえると、以下のような論点について明確化が必要と考えられます。

- ・ 利息支払額が金利計算期間の満期日に確定することを踏まえた、未収利息や未払利息の計上方法
- ・ ヘッジ手法として活用される場合の会計上の取扱い

5. OIS の利用拡大に向けた今後の検討課題

日本円 OIS 市場を拡大していくには、なおいくつかの課題が挙げられます。

まず、日本円 OIS にかかる市場慣行の見直しや、中央清算機関における清算適格取引の拡充が考えられます。また、上場金利先物市場の活性化も考えられます。

（市場慣行の見直し）

例えば、変動金利にかかる日数計算（365 日ベースとするか 360 日ベースとするか）や、金利支払カレンダーの見直し（LIBOR スワップとの整合性確保）、さらには金利の端数処理の統一も、OIS の利便性向上につながりうると考えられます。

また、日本円 OIS と IBOR の変動/変動スワップの取引が行われるようになることも、OIS と IBOR のベースス・マーケットの拡大を通じて、OIS の利便性向上につながるものと考えられます。

このような市場慣行の見直しに当たっては、市場参加者が、自社の取扱いを中央清算機関における取扱いに揃えていくといったアプローチも考えられます。

（清算適格取引の拡充）

JSCC では、2018 年 3 月 26 日より、清算適格となる OIS にかかる金利支払頻度を以下のとおり拡充しました。金利支払頻度の追加により、OIS が、これまで以上に幅広い取引のヘッジ手段として活用されることが期待されます。また、OIS にかかる中央清算機関の利用が一段と進展することで、金利スワップ取引に伴うカウンターパーティー・リスクの削減等につながることを期待されます。

また、市場慣行の見直しに応じて清算適格取引となる OIS が拡充されることが、OIS の利便性向上につながると考えられます。

（図表 5：JSCC における金利支払頻度の追加）

現状	+	追加した頻度	活用イメージ
1Y（年1回）のみ ※1年未満の場合、満期時の1回のみ		6M（年2回）	日本国債 （アセットスワップ等）
		3M（年4回）	通貨スワップ
		1M（年12回）	IBOR参照取引

(金利先物市場の活性化)

このほか、無担保コール O/N 物レートを対象とする金利先物の取引が活性化すれば、OIS 市場の活性化につながる可能性もあります⁶。

⁶ 無担保コールオーバーナイト金利先物は東京金融取引所に上場されているが、2017年7月21日の夜間取引時間帯以降、取引は停止されている。

(別紙)

OISに関するデータは、情報ベンダーで取得することができます。

ここでは、主要3ベンダー（Bloomberg、QUICK、Thomson Reuters）の使い方を紹介いたします。出力日は、いずれも2018年3月19日です。

① Bloomberg

- 機能コード「SWPM」を入力して Enter キーを押す → プロダクト→スワップ → 全スワップを表示します。
- 検索欄に「OIS」と入力して「OIS (Overnight Index Swap)」を選択します。
- レートが取得可能なブローカーは、以下の通りです。なお、契約により表示できない場合があります。

ブローカー名	ブローカーコード
東短 ICAP	TFPR (→OIS を選択)
タレットプレボン	TPOS (→AsiaPac→JPY を選択)
トラディションアジア	MTOI (→OIS Real Time を選択)
パークレイズ	BBOJ (→円 OIS)
JP モルガン	JPJN (→Rates Trading→OIS-TIB-LIB (Historical))
ソシエテジェネラル	SJPY (→INDICATIVE→Spot OIS)

(データ検索例：1年)

91 アクション	92 プロダクト	93 ビュー	94 情報	95 設定	スワップマネージャー									
30 ソルバー (プレミアム)	31 一覧	32 保存	35 取引	38 CCP										
<table border="1"> <tr> <td> ■ データ OISスワップ カウンターパーティ SWAP CINTRPARTY ティッカー / SWAP 20 設定 </td> <td> ■ スワップ レグ1:固定 想定元本 10MM 通貨 JPY 起算日 03/22/2018 満期日 03/22/2019 クーポン -0.032000 % 利払頻度 年 日数計算 ACT/365.FIXED 算出基準 マネーマーケット </td> <td> レグ2:変動 想定元本 10MM 通貨 JPY 起算日 03/22/2018 満期日 03/22/2019 指数 MUTSCALM スワップレート 0.000 bp レバレッジ 1.00000 直近レート -0.05679 リセット頻度 日 利払頻度 年 日数計算 ACT/365 </td> <td> ■ 評価設定 カーフ日 03/19/2018 評価 03/22/2018 CSA Coll Ccy JPY OIS DCストリッピング </td> </tr> <tr> <td> ■ 市況 レグ1: NPV 10,000,000.00 経過利子 0.00 プレミアム 100.00 DV01 1,000.00 </td> <td> レグ2: NPV -10,000,000.00 経過利子 0.00 プレミアム -100.00 DV01 0.00 </td> <td> ■ 評価結果 ハー Cpn -0.032000 元本 0.00 経過利子 0.00 NPV 0.00 </td> <td> プレミアム 0.00000 BPバリュエーション 0.00000 平均クーポン 0.03200 </td> <td> 20 計算機能 PV01 1,000.00 DV01 1,000.00 ガンマ(1bp) 0.20 </td> </tr> </table>						■ データ OISスワップ カウンターパーティ SWAP CINTRPARTY ティッカー / SWAP 20 設定	■ スワップ レグ1:固定 想定元本 10MM 通貨 JPY 起算日 03/22/2018 満期日 03/22/2019 クーポン -0.032000 % 利払頻度 年 日数計算 ACT/365.FIXED 算出基準 マネーマーケット	レグ2:変動 想定元本 10MM 通貨 JPY 起算日 03/22/2018 満期日 03/22/2019 指数 MUTSCALM スワップレート 0.000 bp レバレッジ 1.00000 直近レート -0.05679 リセット頻度 日 利払頻度 年 日数計算 ACT/365	■ 評価設定 カーフ日 03/19/2018 評価 03/22/2018 CSA Coll Ccy JPY OIS DCストリッピング	■ 市況 レグ1: NPV 10,000,000.00 経過利子 0.00 プレミアム 100.00 DV01 1,000.00	レグ2: NPV -10,000,000.00 経過利子 0.00 プレミアム -100.00 DV01 0.00	■ 評価結果 ハー Cpn -0.032000 元本 0.00 経過利子 0.00 NPV 0.00	プレミアム 0.00000 BPバリュエーション 0.00000 平均クーポン 0.03200	20 計算機能 PV01 1,000.00 DV01 1,000.00 ガンマ(1bp) 0.20
■ データ OISスワップ カウンターパーティ SWAP CINTRPARTY ティッカー / SWAP 20 設定	■ スワップ レグ1:固定 想定元本 10MM 通貨 JPY 起算日 03/22/2018 満期日 03/22/2019 クーポン -0.032000 % 利払頻度 年 日数計算 ACT/365.FIXED 算出基準 マネーマーケット	レグ2:変動 想定元本 10MM 通貨 JPY 起算日 03/22/2018 満期日 03/22/2019 指数 MUTSCALM スワップレート 0.000 bp レバレッジ 1.00000 直近レート -0.05679 リセット頻度 日 利払頻度 年 日数計算 ACT/365	■ 評価設定 カーフ日 03/19/2018 評価 03/22/2018 CSA Coll Ccy JPY OIS DCストリッピング											
■ 市況 レグ1: NPV 10,000,000.00 経過利子 0.00 プレミアム 100.00 DV01 1,000.00	レグ2: NPV -10,000,000.00 経過利子 0.00 プレミアム -100.00 DV01 0.00	■ 評価結果 ハー Cpn -0.032000 元本 0.00 経過利子 0.00 NPV 0.00	プレミアム 0.00000 BPバリュエーション 0.00000 平均クーポン 0.03200	20 計算機能 PV01 1,000.00 DV01 1,000.00 ガンマ(1bp) 0.20										

(データ検索例：5年)

91) アクション		92) プロダクト		93) ビュー		94) 情報		95) 設定		スワップマネージャー	
30) ソルバー (プレミアム)		31) 一覧		32) 保存		35) 取引		38) CCP			
3) メイン		4) 詳細		5) カーブ		6) キャッシュフロー		7) リセット		8) シナリオ	
9) リスク		10) マトリックス		11) SWAP		12) CHITRPARTY		13) ティッカー / SWAP		14) 設定	
■ ティール		OISスワップ		カウンターパート		SWAP		CHITRPARTY		■ 評価設定	
■ スワップ		OISスワップ		OISスワップ		OISスワップ		■ 評価設定		カーブ日	
レグ1: 固定		受取		レグ2: 変動		支払		カーブ日		03/19/2018	
想定元本		10MM		想定元本		10MM		評価		03/22/2018	
通貨		JPY		通貨		JPY		CSA Coll Ccy		JPY	
起算日		OD 03/22/2018		起算日		OD 03/22/2018		☑ OIS DCストレリッング			
満期日		5Y 03/22/2023		満期日		5Y 03/22/2023					
クーポン		-0.032000 %		指数		1D MUTSCALM					
利払頻度		年		スプレッド		0.000 bp					
日数計算		ACT/365.FIXED		レバレッジ		1.00000					
算出基準		マネーマーケット		直近レート		-0.05679					
■ 市況											
レグ1: NPV		9,973,987.00		レグ2: NPV		-9,999,999.00					
経過利子		0.00		経過利子		0.00					
プレミアム		99.74		プレミアム		-100.00					
DV01		4,994.00		DV01		0.00					
■ 評価結果											
パー Cpn		0.020000		プレミアム		-0.26013		2) 計算機能			
元本		-26,012.00		BPバリュ		-26.01291		PV01		5,002.00	
経過利子		0.00		平均クーポン		0.03200		DV01		4,994.00	
NPV		-26,012.00						ガンマ(1bp)		3.00	

(イールドカーブ：年限別の OIS レート)

➤ 「5) カーブ」を選択

91) アクション		92) プロダクト		93) ビュー		94) 情報		95) 設定		スワップマネージャー	
30) ソルバー (プレミアム)		31) 一覧		32) 保存		35) 取引		38) CCP			
3) メイン		4) 詳細		5) カーブ		6) キャッシュフロー		7) リセット		8) シナリオ	
9) リスク		10) マトリックス		11) SWAP		12) CHITRPARTY		13) ティッカー / SWAP		14) 設定	
カーブ#		195 - 日本円OIS		カーブ・データ		シフト		+0.00 bp			
カーブ名		日本円OIS		期間		市場金利		シフト		シフト済みレート	
カーブ・サイト		ミッド		1 DY		-0.06200		+0.00		-0.06200	
補間法		スムーズ・フォワード (連続複利)		1 WK		-0.05600		+0.00		-0.05600	
カーブ日		03/19/2018		2 WK		-0.05600		+0.00		-0.05600	
DV01計算タイプ		一定		3 WK		-0.05600		+0.00		-0.05600	
				1 MO		-0.05500		+0.00		-0.05500	
				2 MO		-0.05400		+0.00		-0.05400	
				3 MO		-0.05267		+0.00		-0.05267	
				4 MO		-0.05000		+0.00		-0.05000	
				5 MO		-0.04700		+0.00		-0.04700	
				6 MO		-0.04500		+0.00		-0.04500	
				7 MO		-0.04300		+0.00		-0.04300	
				8 MO		-0.04000		+0.00		-0.04000	
				9 MO		-0.03900		+0.00		-0.03900	
				10 MO		-0.03625		+0.00		-0.03625	
				11 MO		-0.03375		+0.00		-0.03375	
				12 MO		-0.03200		+0.00		-0.03200	
				15 MO		-0.02800		+0.00		-0.02800	
				18 MO		-0.02400		+0.00		-0.02400	
■ 評価結果											
パー Cpn		0.020000		プレミアム		-0.26013		2) 計算機能			
元本		-26,012.00		BPバリュ		-26.01291		PV01		5,002.00	
経過利子		0.00		平均クーポン		0.03200		DV01		4,994.00	
NPV		-26,012.00						ガンマ(1bp)		3.00	

② QUICK

- 画面コード「NAVI8」にて表示される資金為替・OTCデリバティブ ページ内のリンクから各ブローカーの年限別のレートが表示されます。なお、契約により一部の情報が利用できない場合があります。

NAVI008 資金為替・OTCデリバティブ ページ内 > ページ内・トップ

OIS/フォワード

主要国	東短 ICAP	東短 ICAP Pro	ICAP HK	ICAP London	ICAP NY	Tullett Prebon	TRADITION ASIA
>JPY	>ターム・BOJ	>ターム・BOJ		>ターム・BOJ		>>	>ターム・BOJ
>USD			>>	>>	>>	>>	
>EUR				>ターム・ECB >FWD		>> >FWD	
>GBP				>>		>>	
>CHF				>>		>>	
>AUD			>>	>> >>		>>	
>CAD				>>		>>	

(トラディショナルアジアの情報画面：コード MTTJ17)

MTTJ017

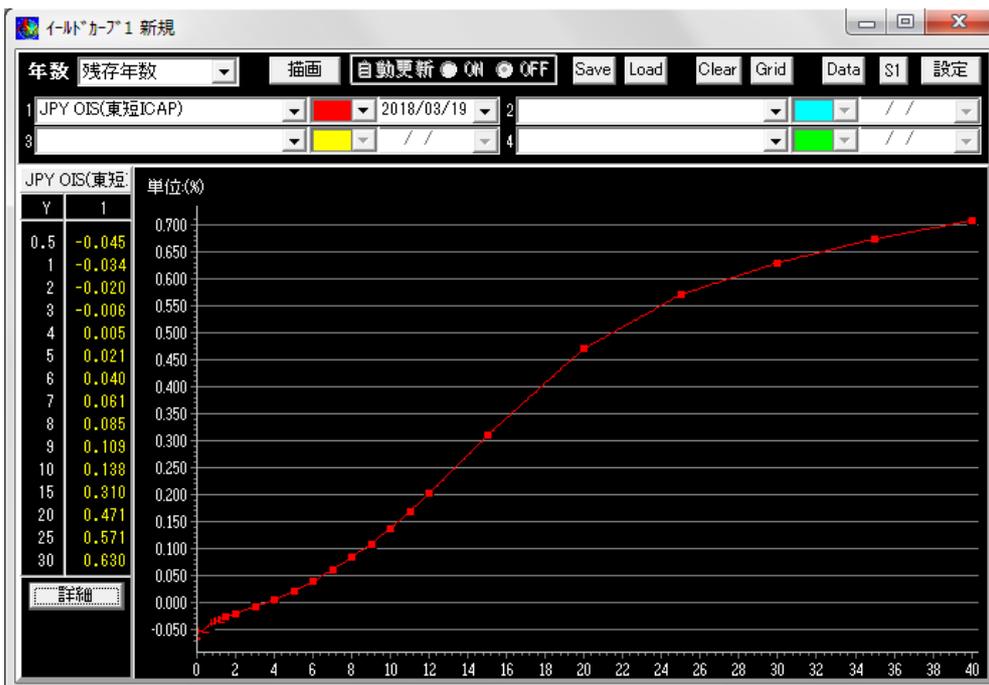
円OIS	円OIS (日銀政策決定会合間)	START	END
1M -0.03500/-0.07500 (3/16)	1st -0.03125/-0.07125 (3/16)	~	~
2M -0.03375/-0.07375 (3/16)	2nd -0.02250/-0.06250 (8:09)	~	~
3M -0.03250/-0.07250 (3/16)	3rd -0.01500/-0.05500 (8:09)	~	~
4M -0.03000/-0.07000 (3/16)	4th -0.00625/-0.04625 (8:09)	~	~
5M -0.02750/-0.06750 (3/16)	5th -0.00625/-0.04625 (8:09)	~	~
6M -0.02500/-0.06500 (3/16)	6th -0.00375/-0.04375 (3/13)	~	~
7M -0.02250/-0.06250 (3/16)	7th 0.01125/-0.02875 (3/12)	~	~
8M -0.02000/-0.06000 (3/16)	8th 0.01625/-0.02375 (3/12)	~	~
9M -0.01875/-0.05875 (3/16)	9th 0.00625/-0.03375 (3/12)	~	~
10M -0.01625/-0.05625 (3/16)	10th -0.02500/-0.06500 (3/12)	~	~
11M -0.01375/-0.05375 (3/16)	11th /	~	~
1Y -0.01250/-0.05250 (13:24)	12th /	~	~
18M -0.00375/-0.04375 (13:24)			
2Y 0.00125/-0.03875 (14:26)			
3Y 0.01250/-0.02750 (18:38)	10Y 0.18375/ 0.08375 (18:38)		
4Y 0.05500/-0.04500 (18:38)	12Y 0.24750/ 0.14750 (18:38)		
5Y 0.07000/-0.03000 (18:38)	15Y 0.35375/ 0.25375 (18:38)		
6Y 0.08875/-0.01125 (18:38)	20Y 0.51500/ 0.41500 (18:38)		
7Y 0.11125/ 0.01125 (18:38)	25Y 0.61500/ 0.51500 (18:38)		
8Y 0.13375/ 0.03375 (18:38)	30Y 0.67625/ 0.57625 (18:38)		
9Y 0.15625/ 0.05625 (18:38)	40Y 0.75875/ 0.65875 (18:38)		

メニュー： MTT@ 為替総合メニュー： FX@*M マネーマーケットメニュー： MN@*M

(東短 ICAP の情報画面 : コード TCM@)

TCM@		東短 ICAP		円 OIS 情報		START		END			
円 OIS	ASK	BID		円 OIS (日銀政策決定会合間)							
1D	0.00250	-0.12750	(14:57)	1st	-0.01250	-0.09250	(8:15)	~			
1W	0.01000	-0.12000	(8:15)	2nd	-0.00375	-0.08375	(14:58)	~			
2W	0.01000	-0.12000	(8:15)	3rd	0.00375	-0.07625	(14:58)	~			
3W	0.01000	-0.12000	(8:15)	4th	0.01000	-0.07000	(14:58)	~			
1M	0.01250	-0.11750	(8:15)	5th	0.01625	-0.06375	(8:15)	~			
2M	0.01250	-0.11750	(8:15)	6th	0.02000	-0.06000	(8:15)	~			
3M	0.01250	-0.11750	(8:15)	7th	0.02375	-0.05625	(14:58)	~			
4M	0.01500	-0.11500	(8:15)	8th	0.02625	-0.05375	(14:58)	~			
5M	0.01750	-0.11250	(8:15)	9th	0.02875	-0.05125	(14:58)	~			
6M	0.02000	-0.11000	(8:15)	10th	0.03125	-0.04875	(14:58)	~			
7M	0.02125	-0.10875	(14:58)	11th	0.03375	-0.04625	(14:58)	~			
8M	0.02375	-0.10625	(8:15)	12th	0.03625	-0.04375	(14:58)	~			
9M	0.02625	-0.10375	(8:15)	無担保コール (東京短資)		TRADED	ASK	BID			
10M	0.02750	-0.10250	(8:15)		ON	-0.080	(15:57)				
11M	0.03000	-0.10000	(14:58)		TN						
1Y	0.03125	-0.09875	(14:01)		SN						
15M	0.03500	-0.09500	(14:01)	(短資協会)		ON	-0.06	(03/19速報)			
18M	0.03875	-0.09125	(14:01)								
2Y	0.04500	-0.08500	(14:01)	8Y	0.15000	-0.02000	(17:34)	20Y	0.53625	-0.40625	(17:34)
3Y	0.05875	-0.07125	(14:01)	9Y	0.17375	-0.04375	(17:34)	25Y	0.84625	-0.49625	(17:34)
4Y	0.07000	-0.06000	(17:34)	10Y	0.20250	-0.07250	(17:34)	30Y	0.70500	-0.55500	(17:34)
5Y	0.08625	-0.04375	(17:34)	11Y	0.23375	-0.16375	(17:34)	35Y	0.74875	-0.59875	(17:34)
6Y	0.10500	-0.02500	(17:34)	12Y	0.26750	-0.13750	(17:34)	40Y	0.78250	-0.63250	(17:34)
7Y	0.12625	-0.00375	(17:34)	15Y	0.37500	-0.24500	(17:34)				

- 各数値にカーソルを合わせ、コード入力ボックスに「*GD」(半角大文字)と入力、Enter キー押下で各年限の日足チャートが表示できます。
- ツールバー「債券機能」の「イールドカーブ」から「インデックス」そして「OIS」を選択し、イールドカーブを表示できます(契約により表示できない場合があります)。

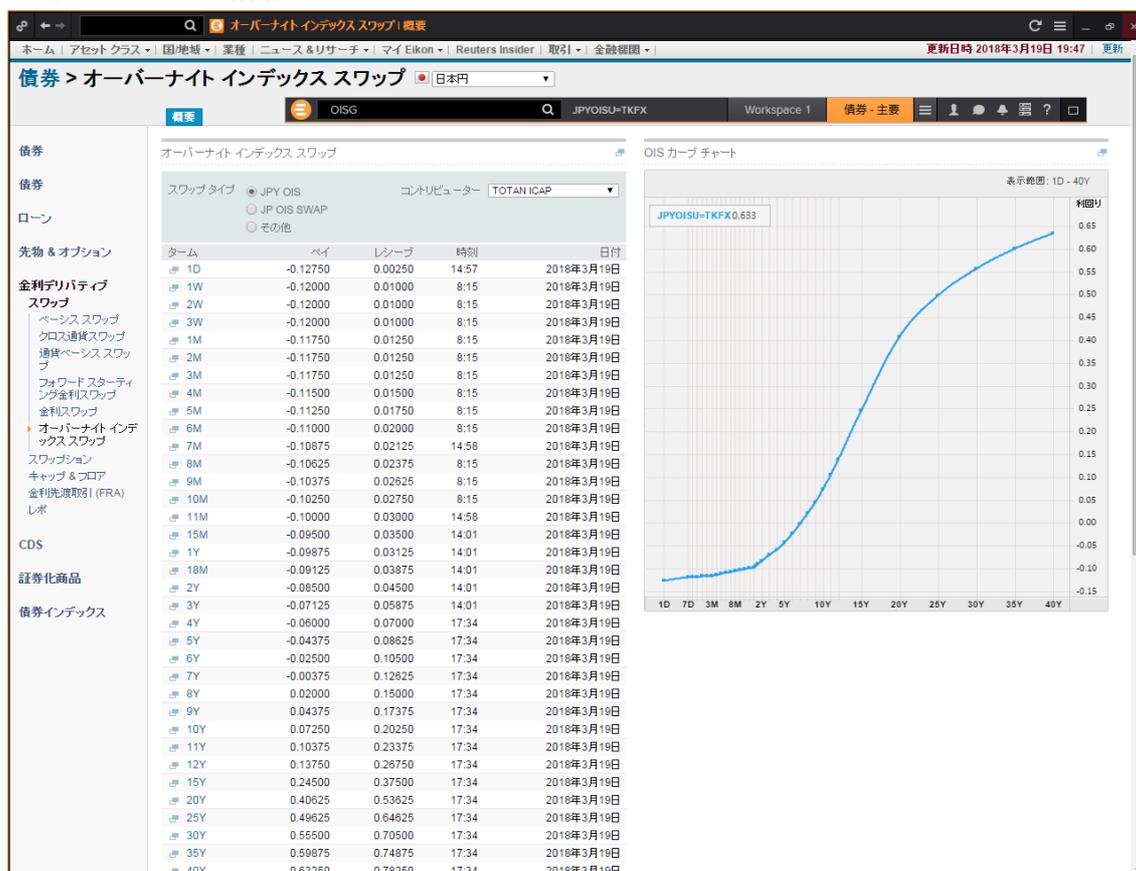


③ Thomson Reuters

- 検索欄に「OIS」と入力し、「オーバーナイト インデックス スワップ ガイド」を選択した後、通貨は「日本円」を選択します。ブローカー（「コントリビューター」）を選択すると、各ブローカーの年限別のレートとイールドカーブが表示されます。
- レートが取得可能なブローカーは、以下の通りです。なお、契約により表示できない場合があります。

ブローカー名	コード
東短 ICAP	JPYOISU=TKFX
ICAP	JPYOIS=ICAP
タレットプレボン	JPYOIS=YMPR
トラディションアジア	MIRS6, JPONI=TRDT
FENICS MARKET DATA	JPYOIS=FMD
WOOD AND COMPANY	JPYOIS=ICMM

(東短 ICAP の情報画面)



以上